

北房地域4つ小学校で最後の運動会 各校感動のフィナーレ!



校歌おどり(9/18上水田小学校)



親子競技(9/19中津井小学校)



応援合戦(9/18皆部小学校)



リレー(9/18水田小学校)

市政トピックス TOPICS

平成30年4月に開校する「北房小学校」へ統合する4つの小学校で最後の運動会が開かれました。保護者や地域の人たちが見守る中、児童たちは日頃の練習の成果を発揮し、迫力ある競技や心こもった演技で会場を沸かせました。また、北房地域の小学校に代々伝わる校歌に振付をした「校歌おどり」も4校でそれぞれ披露され、母校の「校歌おどり」を懐かしそうに眺める人や、児童と一緒に踊り、涙ぐむ人もいました。

9月1日、久世幼稚園に保育機能を持たせ、園舎もそのまま活用して移行する「久世こども園」の開園式が開かれました。久世地域では幼稚園の入園希望者が減少する一方で、第3子保育料無料化などにより地域内の保育園2園への入園希望者が定員を上回る状態が続いており、今後とも定員超過が見込まれることからこども園開設を計画。当初は来春の開園を予定していましたが、半年間前倒しして開園しました。

久世こども園開園式 67人の園児の新たな門出



たくさんのお友だちといっぱい遊ぼうね



共に手を取り合い、馬術を通じた交流を深めます

ホストタウン交流大使任命証交付式 ドイツと真庭市の架け橋

8月25日、蒜山ホースパークで2020年の東京五輪に向けたホストタウン交流大使任命証交付式が開かれました。太田市長からリオデジャネイロオリンピックに出場した原田喜市さんと、ドイツ在住で原田さんのトレーナーでもある、クリストフ・コシエールさんに任命証が手渡されました。ドイツを相手国にホストタウン登録した真庭市では、原田さんとコシエールさんの2人がドイツとの架け橋になることに期待を寄せています。



市政に関する動きの一部を紹介します

8/21 真庭版DMO設立準備会

真庭市観光戦略の具体化と推進体制のあり方を検討するための真庭版DMOの設立に向けた準備会が開かれ、真庭市や各地域の観光関連団体が、現時点で想定される事業と今後取り組む事業について話し合いました。



9/13 真庭高校看護科 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座が真庭高校落合校地で初めて開かれ、看護科1年生22人が受講しました。生徒たちは認知症の基礎知識を学んだほか、認知症を予防する体操も体験し、認知症に対する理解を深めていました。



市長室から
こんにちは!

未来を生きる子どもの学力向上を!

最近、全国や岡山県の学力・学習状況調査の結果が出ましたが、これまで以上に中学校では深刻な結果になっています。

小学6年生では全国や岡山県と同程度か上回る学力ですが、中学3年生ではそれを下回り、大変厳しい成績になっています。真庭の子どもは小学校の時の成績が良いが、中学生になると下がる傾向が明確なのです。家庭での勉強時間も中学では学年が上がるほど短くなっており、急速に普及したスマホの利用時間も長い傾向があります。どうも、真庭の子ども達は「安きに流れる傾向」が強いように思われます。

未来を生きる子どもが、若い時に地道な努力を怠ることに危機感を覚えます。将来どんな職業に就くにせよ、成長期に自分の頭で考えて思考力を養う努力を重ねて、我慢強い人間に成長しなければ、豊かで(精神的に)幸せな人生をおくるのが厳しいことになるのではないのでしょうか。

教育関係者や保護者が、この現状に対して共通認識を持って対応策を検討し、実践していただくことを提案します。学校、家庭、地域が連携して学習する雰囲気を作ることが大切です。素直でよく挨拶をするなど、素晴らしい素質を持った真庭の子どもが、知徳体ともに優れた人間として成長できるように大切に育てましょう。



産業学習館への避難所開設を想定して意見を出し合う参加者

真庭市総合防災訓練 災害時の対応を確認

9月3日、台風や土砂災害などを想定した総合防災訓練が、市内各会場で開催されました。メイン会場の真庭やまびこスタジアムでは、自衛隊・消防・警察が連携して行う救助訓練のほか、地域住民約1000人が避難所開設や運営方法、役割分担について確認。また、真庭市赤十字奉仕団と京都府城南市の炊き出しボランティア「城炊会」が、米と少量の水、炊飯袋で簡単に炊飯できるハイゼックス炊飯を紹介しました。



初秋の風を感じながら活発に意見を交わしました

市長と話そう 北房地域の更なる活性化を

市長と市民が直接語り合う「市長と話そう」が、9月4日に北房もみじ公園で行われました。今回は、アウトドアで北房の魅力発信やまちづくりを進めようと活動している、北房アウトドアベース実行委員会のメンバーが参加。公園周辺での体験メニュー・アクティビティの考案など誘客や滞在時間延長の取り組みについて、また周辺の集落や企業と連携した特産品開発などについて、幅広く意見を交わしました。